

学部のCP－学科のCP①

学部 CP	学科 CP①	
<p>理工学部では、幅広い教養や理工学全般の知識に加え、専門性の高い知識及び情報の収集・発信に関する知識を主体的に修得すること、また、それらを科学技術業界や地域社会へ活用し、貢献できる人材の育成を目的とし、教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。</p>	食環境学科	<p>食環境学科では、食と環境に関する幅広い知識を主体的に修得し、科学の基礎知識に根ざした情報収集力・情報分析力・論理的思考力を確実に身につけ、食環境の諸問題への取り組みを通じて社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、食環境分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	生物科学科	<p>生物科学科では、生物科学全般に関する幅広い知識を主体的に修得し、データに基づいて分析する力及び論理的に思考する力を確実に身につけ、それらを社会へ発信して活用、貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、生物科学分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	機械工学科	<p>機械工学科では、機械工学分野に関する幅広い知識と技能を主体的に修得し、ものづくりを中心とした機械産業の諸課題を探究できる論理的かつ創造的な能力を実践的に身につけ、それらを活用して社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、機械工学分野の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技能、論理的な思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。</p>
	情報電子工学科	<p>情報電子工学科では、情報・電子技術を駆使して、高度情報通信社会の諸問題に柔軟に対応し、新しい社会の構築に貢献する技術者の育成を目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目に加えて、情報・電子分野の技術を駆使するために必要な専門基礎科目および専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	経営学科	<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や地域社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>
<p>人間学部では、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する知識を主体的に修得し、それらを活用して地域社会の発展と向上に貢献できる人材の育成を目的とし、文化、教育に関する基礎的な知識を養成する専門基礎科目、より専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	人間文化学科	<p>人間文化学科では、人間が創り出した文化を言語、芸術、生活、社会の4側面からとらえ、今日的状況や文化構造に関する知識および関連する技能を修得することにより、地域社会の創成や文化振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を達成するために、幅広い教養と文化学に関連する専門的知識を修得する科目、文化に関する各種情報を収集・分析し、その成果を的確に情報発信する能力を身に付ける科目、地域の文化振興に主体的に取り組む態度や志向性を涵養する科目、文化に関わる研究テーマについて調査・分析・考察を行い、それを一定の成果としてまとめ上げる能力を育成する科目により、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	人間教育学科	<p>人間教育学科では、保育・教育に関する幅広い知識と基本的技能を主体的に習得し、現代社会における保育・教育の諸課題の解決に創造的、実践的に取り組む能力を身につけ、保育・教育の発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。この目的を果たすために、保育・教育学の知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識や技能、また論理的、創造的に思考する能力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開し、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>

機械工学科のCP②

教育上の目的	養成する人材	DP	CP②	授業科目	
<p>機械工学科では、組織として教育研究対象とする中心的な学問分野を「機械工学分野」とし、幅広い教養および実社会と職業との関わりの認識を通して、豊かな人間性と高い職業観、生涯にわたり学び続ける主体性を養うとともに、機械工学に関する幅広い知識と技能を身につけ、現代の機械産業の諸課題の解決に活用できる総合的かつ創造的な能力を実践的に育てる」ことを教育上の目的とする。</p>	<p>機械工学科では、「社会の一員として必要な教養と豊かな人間力とともに、機械の設計や製造、運転や保全を適切に遂行するための専門的な知識と実践的な能力に加えて、情報通信技術等の周辺技術を機械工学に融合するための基礎的な知識を有し、ものづくりを中心とした幅広い機械産業の諸問題に柔軟に対応しながら、社会の発展に主体的に貢献できる豊かな創造力を身につけた人材」を養成する。</p>	<p>機械工学科では、次に掲げる四つの能力、すなわち、幅広い教養と専門知識、情報収集力と情報発信力および職業で必要となる専門的技能、主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢、創造的思考力と研究遂行能力を、確実に身につけている者に学士(工学)の学位を授与する。</p>	<p>【幅広い教養と専門的知識】</p> <p>①文化や社会、自然科学全般の幅広い教養と豊かな人間力を有し、さらに機械工学の基幹科目および応用科目と関連科目を総合的かつ体系的に理解している。</p>	<p>①-1 幅広い教養および豊かな人間性を涵養することを目的として、文化・社会・歴史・科学全般の基本的な科目を配置する。</p> <p>①-2 専門教育科目の基礎となる自然科学全般の知識および機械工学分野の基本的な知識を身につける基幹科目を設置する。</p> <p>①-3 機械工学に関する幅広い専門知識と技術を深く理解するための科目および応用領域や関連諸分野を総合的かつ体系的に理解するための科目を配置する。</p>	<p>日本の歴史、世界の歴史、異文化理解の人類学、哲学-知の起源-、芸術と文化、日本文学への誘い、心理学-心の科学-、社会学の世界、生命と地球、物質とエネルギー、健康科学と身体運動</p> <p>基礎化学A、基礎化学B、基礎生物A、基礎生物B、基礎物理A、基礎物理B、数学、理工数学、化学、生物学、物理学、基礎物理化学、材料力学Ⅰ、流れ学、制御工学Ⅰ、流体力学Ⅰ、熱力学Ⅰ、材料工学、機械力学、設計法、機構学、電磁気学、CAD工学</p> <p>伝熱論、材料力学Ⅱ、計測工学、制御工学Ⅱ、熱力学Ⅱ、流体力学Ⅱ、応用熱工学、精密加工学、メカトロニクス、航空宇宙工学、CAM工学、材料強度学、流体機械、燃焼機関、冷凍および空気調和、ロボット工学、振動工学、トライボロジー、パワープラント工学、自動車工学Ⅰ、自動車工学Ⅱ、自動車材料、自動車力学、カーエレクトロニクス</p>
			<p>【情報収集力と情報発信力および専門的能力】</p> <p>②幅広い機械工学における諸課題の課題を挙げ、適切な方法で情報を収集・分析できる能力と結果を的確に表現し伝達できる能力、および職業で必要となる汎用的技能を身につけている。</p>	<p>②-1 科学的情報を適切な方法で収集・分析し、客観的かつ論理的に思考できる能力を身につける科目、専門分野における諸課題の解決や職業で必要となる技能を身につける科目を配置する。</p> <p>②-2 情報を的確に表現し、効果的に伝達するために必要な情報活用能力やコミュニケーション能力を身につける科目を配置する。</p>	<p>情報社会論、基礎統計学、基礎数学、応用数学、解析学、情報システム概論Ⅰ、情報システム概論Ⅱ</p> <p>工作実習Ⅰ、工作実習Ⅱ、機械設計製図Ⅰ、機械設計製図Ⅱ、工作・測定作業実習、故障探求、自動車法規、自動車整備Ⅰ、自動車整備Ⅱ、機械工学実験Ⅰ、機械工学実験Ⅱ</p> <p>情報活用法Ⅰ、情報活用法Ⅱ、日本語化技法A、日本語技法B、英語A、英語B、英語C、英語D、英語コミュニケーションA～D、中国語AⅠ～BⅡ、フランス語AⅠ～BⅡ、ドイツ語AⅠ～BⅡ、ハンガール語AⅠ～BⅡ、機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ</p>
			<p>【主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢】</p> <p>③社会の規範やルールを尊重して行動する高い倫理観と社会観を有し、継続的な社会の発展や機械工学に係る諸課題に意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける主体性を身につけている。</p>	<p>③-1 機械工学に関連する環境問題や社会問題などの社会的活動に対して、地球規模な視点や地域の視点を持って関与するために必要な倫理観や社会観を身につける科目を配置する。</p> <p>③-2 社会の一員として望ましい心構えや人間性とともに、継続的な社会の発展や諸課題に意欲的に関与する態度および生涯にわたり学び続ける主体性を身につける科目を配置する。</p>	<p>国際体験研修、いしのまき学、法と社会、法と人権、経済と社会、地域と政策、地理学-身近な地域から世界まで-、環境と科学、生活習慣と健康管理</p> <p>キャリア設計、キャリア開発、キャリア研究、フレッシュマンセミナー、復興ボランティア学、ボランティア論、ボランティア演習、総合科目、機械工学特別科目Ⅰ、機械工学特別科目Ⅱ、機械工学特別科目Ⅲ、機械工学特別科目Ⅳ</p>
			<p>【創造的思考力と研究遂行能力】</p> <p>④総合的な学習経験を通して、機械工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を身につけている。</p>	<p>④機械工学に関して獲得した知識、技能、態度等の総合化を図るとともに、機械工学分野の諸問題について自ら課題を探究できる創造的思考力および研究能力を身につける科目を配置する。</p>	<p>機械工学実験Ⅲ、機械工学実験Ⅳ、機械創造実習、学外見学・実習、機械工学実験Ⅴ、卒業研究</p>